

道というインフラが人々の出会い



e-Tokushima.net
徳島文化の発見・発信・発想サイト

元木 新

徳島空港から吉野川に向かう帰り道は、いつもと変わらぬ道である。人生の半分近くを関東圏で過ごした私たち e-tokushima.net

のメンバーにとって、徳島空港から自宅へ向かう帰り道は懐かしい道である。そんな中、私たちはふと思うことがある。私たちは e-tokushima.net のような県外に住む者が思う、想いの詰まった道・面白い道は何だろう」かと。それは大きくて、便利で効率性の良い道だろうか？それとも狭く、曲がりくねった道であろうか？これについては、様々な意見があると思う。しかし、私たちが感じているのは、そのどちらでもあり、どちらでもない道である。

私たちが考える想いの詰まった道・面白い道とは、効率が良い道、懐かしい道、住民の生活感が

ある道、土地、水、山、風、のアイデンティティがある道である。徳島には道の傍らにもたくさん自然がある。東京に住む私たちにはあまりお目にかかれない風景。人と自然と道の融合・共存がうまくいつている光景は本当に美しい。それは徳島にしか表現できない道である。

また、徳島にはたくさんの地場企業・誘致企業・ベンチャー企業がある。例えば、道に関連したテクノロジーに『徳島テクノロジ』があるのかを考えてみる。信号機の光源がLEDに代替されている。昨今、徳島に関連の深い技術があることを知ると何かうれしい気分になる。普段使用する自分たちの道で、『徳島テクノロジ』に想いを馳せるって面白いことだと思う。未来の徳島を考えた時、『道』を通して徳島に想いを馳せるとどのような未来の道があるだろうか？

交通渋滞のない大きく便利な道、徳島のカラーである藍色の道、徳島の名産であるすだちで作った

道、すだちの香りがする道、ネスファルトの臭いではなくすだちの香り、阿波踊りの練習風景を見ることが出来る道、いろいろあると思う。徳島にそんな道があれば、きっとみんなが思う楽しい徳島になると思う。そんな想いの詰まった道が徳島を面白くする。きっといっぱいあるはずである。そしてできるはずである。それが私たちにとって魅力ある故郷徳島だと思う。

私たちがこれから接していく道は、様々な未来を作る。道というインフラが、人々の出会いや文化、思想、経済を作っていく。道が及ぼす新たな刺激によって、笑顔が絶えない面白い時代がやって来ると思う。

様々な人々が係わっていく道であるからこそ、徳島に根ざした徳島の道を創造して欲しい。徳島に根ざした徳島の道が新たな徳島を創り、光ある徳島を創ると信じている。